看護実践・キャリア支援センター通信

Vol.5

看護師特定行為研修が平成 28 年 1 月からスタートします。
1 月から 9 月までは「共通科目」と呼ばれる座学中心の研修を行い、10 月から 12 月にかけては「区分別科目」として、附属病院での臨地実習を行います。一年間の研修を修了し現場で活躍できるのは平成 29 年 1 月以降です。特定行為とは、看護師が手順書により医療行為を行うという全く新しい概念の制度です。研修期間中、研修修了後に関わらず周囲の理解は不可欠です。皆様、温かいご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

「認知症をもつ患者への対応力向上研修」開催

本研修会を 9 月 4 日、10 月 28 日の2回、附属病院の認定看護師である池内勝継さんを講師に、両日同内容で院内、地域の看護職に向けて開催しました。一般病院における認知症患者への看護について、基本的な知識の理解に基づいて、実際面での対応について具体的な例を示しながら説明されました。受講者の方から「認知症の人に対する対応がとてもわかりやすかった」、「言動の原因を探すところに目をやることが大事とわかった」など、実際に日々のケアの中で困っている人が多いことから、活用への期待に添える内容であったことがうかがえました。

シンポジウム「認定看護師の意義と役割

本研修は、認定看護師の意義と役割の理解を深めることによって、資格取得への動機づけとなることを目的として、10 月１日シンポジウムの形で開催しました。シンポジストとして、皮膚排泄ケア認定看護師の看護学科教授石澤美保子先生、附属病院の感染看護認定看護師、松浦一さん、摂食･嚥下障害看護認定看護師、長谷川陽子さんの３人に出席いただき、資格取得のプロセスや、現在の活動内容、やりがいを感じている内容などを語っていただきました。参加者からは「認定看護師の仕事内容が少しわかった」「スタッフにいろんな道があることを教えたい」などの声が聞かれた。また、今後の希望として、さらに他の分野の専門看護師、認定看護師の人たちの話も聞きたいとの意見もあり、今後さらなる充実の必要性を感じました。

「対人援助技術の基礎知識･技術」研修
フォローアップコースの開催

本コースは、先に対人援助の基礎知識･技術のベーシックコース、アドバンスコースの研修を終え、その知識･技術をもとに、臨床現場での実際の事例を基に学習できるコースとなっています。実際に体験した場面が逐語録で紹介されるので、現実感が伴い生きた学習として身につくものと期待できます。

がん看護研修（第2・3回）開催

がん看護ステップアップ研修は、5 回シリーズで計画しておりますが、過日、第 2 回目と第 3 回目の研修が開催されました。

第 2 回目は 10 月 17 日（土）に、二人の緩和ケア認定看護師を講師として行われ、『緩和ケアの基礎知識と看護師に求められる役割・能力』については、金井恵美さんが、また、『看護に活かす症状マネジメントの実際』については、松村勝代さんが担当されました。

第 3 回目は 11 月 14 日（土）に、乳がん看護とがん性疼痛をテーマに、『乳がん治療における看護師の役割』について、乳がん看護認定看護師の宮城恵さんが、『がん性疼痛看護を実施するうえで看護師が知っておくべきこと』と題して、がん性疼痛看護認定看護師の平野展子さんと今崎小夜子さんにより行われました。

いずれの研修もアンケートの結果は概ね好評で、緩和ケアでは「日常業務の中で困っていることを重点的に理解できた」あるいは、「今後の業務に活かせる」、また、乳がん看護では「新しい知識が得られた」「精神的なケアの重要性など学びの場となった」、がん性疼痛看護では「疼痛管理や薬剤の選択などが理解できわかりやすかった」などの意見が寄せられた。

なお、全体として研修内容の理解度や今後の活用などの回答には、経験年数や職場の形態により一定の傾向が見られるので、シリーズ完結後にはその点も含めて分析していきたい。

「看護職者のキャリア発達とは何か」

―キャリアデザインを描くことの意義と方法―

12 月 9 日看護学科学生4年生・3年生、看護部職員を対象に、キャリア発達について神戸市立看護大学教授　グレッグ美鈴先生からご講演いただきました。新人看護師からのキャリア形成の過程を、ご自身の体験における思いや葛藤を含めてお話しいただき、また患者の家族としての体験から得られたことを具体的に語っていただきました。参加した学生からは、「これから看護師になることに不安もあったけれど、悩むことも必要なことで、そこから学びがあるということが分かった」、「すぐに成果を求めず、できることを少しずつ増やそうと思った」、「自分のやりがいを見つけて質の向上を目指していきたいと思った」など多数の感想が寄せられました。学生が将来展望を考え、実践していくための大きなヒントが得られた様子で、大変充実した時間を過ごしていました。

今後の予定

- ⦿ 看護学科3年生と看護部看護職員との懇親会
  平成28年2月19 日（金）
- ⦿ 実習指導者・看護学科教員との交流会
  平成28年3月初旬
- ⦿ 看護主任の看護研究中間報告会
  平成28年3月初旬